

2019年度 後期  
漢検 漢字文化研究所  
連続講座 第6弾

聴講料  
各回 1,500円  
(入館料込)  
年パスお持ちの方  
各回 800円

## 身近な漢字を考える

私たちの日常生活のいたるところに、何げなく顔を出す漢字について、今回の講座ではいくつかの領域ごとに、あらためて正面から向きあってみてみたいと思います。



阿辻 哲次



谷本 文男



塩田 雄大



安岡 孝一



比留間 直和



円満字 二郎

開講日	テーマ
10月12日 (土) 14:00～15:30	<b>「正しい漢字」とはなにか？</b> 「漢字の正しい形」は、時代ごとに変化してきました。その変化をたどり、現代における漢字の諸問題を考えようと思います。 漢検 漢字文化研究所 所長 阿辻 哲次
11月23日 (土) 14:00～15:30	<b>若者と漢文と日本語</b> 国語科の古典の中に漢文があります。21世紀の今になってもなお、日本の児童・生徒に漢文を教え続けているのはなぜかを考えます。 元奈良女子大学附属中等教育学校国語科主幹教諭 谷本 文男
12月15日 (日) 14:00～15:30	<b>放送と漢語</b> 漢語は、放送でどのように使われてきたのでしょうか。読み方・使い方など、ラジオ放送開始期からの移り変わりを考えてみます。 NHK放送文化研究所 主任研究員 塩田 雄大
1月11日 (土) 14:00～15:30	<b>漢文とAI</b> 漢文からその意味を汲み取る時、AI(人工知能)はどう漢文を読むのでしょうか。ヒトとAIで、漢文の読み方は違うのでしょうか。 京都大学人文科学研究所附属東アジア人文情報学研究中心 教授 安岡 孝一
2月9日 (日) 14:00～15:30	<b>新聞づくりと漢字</b> 情報を幅広くスムーズに伝えるには、漢字をどう扱うべきか。新聞づくりと漢字をめぐる歴史を振り返り、これからを考えます。 朝日新聞メディアプロダクション校閲事業部 用語担当 比留間 直和
3月14日 (土) 14:00～15:30	<b>令和の時代の漢字辞書</b> 漢字の辞書には、どのような情報が載っていると便利でしょうか？新しい時代に必要とされる辞書の姿を探ります。 辞書編集者 円満字 二郎

講座は、各回違うテーマで、内容が連続する講座ではありません。ご自身の都合に合わせて、ご興味のあるテーマのみの受講ができます。

聴講料 全回早期一括申込み割引 (2019年10月12日まで)  
入館料込 8,000円 年パスと同時申込み 6,500円  
(年パスをお持ちの方 4,000円)



漢検 漢字博物館・図書館  
Japan Kanji Museum & Library

申込み・問い合わせ先  
電話：075-757-8686  
www.kanjimuseum.kyoto